

市町村の動き

新市街地誕生！ 二戸市^{にわた}り地区土地区画整理事業が完了

報告：二戸地方振興局土木部

6月5日

平成7年に事業を開始してから12年を要した荷渡地区土地区画整理事業が、多くの方々のご理解とご協力をいただき、ほぼ完了しました。住所表示も「荷渡」に統一変更され、新しいまちとしてスタートしました。

本事業は、二戸市が施工者となり、新幹線盛岡以北開通後を視野に、二戸駅と市中心部を結ぶ交通体系の整備、二戸広域都市圏における公共施設等の集積や快適な住環境の整備などを目的に進めてきました。(総事業費：約31億1千3百万円)

この地区は、国道4号と馬淵川に挟まれた石切所地区の北側に位置する畑地の中に住宅が点在する20.4haの区域でしたが、土地所有者の皆様から平均で25.82%の土地を提供いただき、44戸の住宅に移転していただき、公共施設の整備を行った結果、写真のような市街地に生まれ変わり、今では多くの市民が行き交う場となっています。



主な事業：都市計画道路・枋ノ木市民会館線(幅員16m、延長658m)、荷渡線(幅員4m、延長803m)、前小路線(幅員4m、延長171m)のほか、幅員9mの道路を405m、幅員6mの道路を3,003m新設、下水道の整備

関連事業：市の偉人・先人を学び市民の交流の場となる「二戸市シビックセンター」、各種イベントにも活用できる「多目的広場」、国・県の機関が入る合同庁舎を移設整備